

給水管（引込管）

市町村道用占有工事完了写真

(オフセットと耐圧の写真とは別にして提出すること。)

工事完了後速やかに 2部提出（データは必要ありません。）

1. 着手前（2方向以上、全体が写るように）
2. 完了（2方向以上、全体が写るように）
3. 掘削工（出来形の写真、舗装版切断工と掘削中の写真は必要ないものとする）
4. 水道管布設工（浸透防護スリーブを巻き、布設後の写真）
5. 砂埋戻し工（給水管上20cm埋戻し、填圧中と出来形の写真）
※本管の深さによって埋戻しの回数は前後するものとする
6. RC-40埋戻し工（20cm埋戻し、填圧中と出来形の写真）
7. 埋設クロスシート（管上から400mmの位置）
8. RC-40埋戻し工（20cm埋戻し、填圧中と出来形の写真）
9. RC-40埋戻し工（仮復旧厚まで、填圧中と出来形の写真）
※埋設の深さによって埋戻しの回数は前後するものとする
※一度の填圧は20cm以下とする
10. 仮復旧工（この時もスタッフを当てる）
11. 舗装本復旧工
 - ・路盤工（不陸整正(転圧)中と出来形の写真、すき取り工の写真は必要ないものとする）
 - ・プライムコート散布状況及び散布完了
 - ・粗粒アスファルト（2層の場合）
 - ・タックコート散布状況及び散布完了（2層の場合）
 - ・密粒アスファルト※その他舗装構成によって内容は変更するものとする
12. 保安設備（保安設備図通りのものを写すように）

その他注意事項

1. 出来形の写真では、十分に填圧したものを準備すること。（填圧中の写真も必要です。）
2. 占用申請した給水管の本数分の必要写真を準備すること。（同じ方角や、同穴での施工の場合は1つにまとめて良い）
3. 設計通り角を出して掘削をした写真を撮ること。（掘り残しがないように。）
4. 出幅が分かるようにスタッフを当て、撮ること。
5. 黒板の内容が占用図面と違いが無いか確認して撮ること。（黒板の内容が読みにくい場合は写真の横のスペースに図示又は説明書きをすること。）
6. 側溝下を推進工法にて施工する場合は、写真を必ず撮ること。（たぬき堀りは禁止。）
7. プライムコート、タックコート（2層の場合）の施工写真が必要です。散布状況写真には、噴霧器を使って施工している写真、散布完了写真には、全体にムラ無く塗り終わった写真が必要です。（表面だけでなく、側面にもしっかりと散布すること。）
8. 歩道と車道など、舗装構成の違うものは、舗装構成ごとに写真が必要。
9. 上記の注意事項を守らず施工したり、写真の撮り忘れがあると施工をやり直してもらい可能性がありますので、十分に注意して施工及び、写真を撮ること。
10. 工事施工予定日は決まり次第、工務課に連絡すること。

※今後も道路管理者からの指示により、その他変更がある場合がございます。
あらかじめご了承ください、ご協力をよろしくお願いいたします。